

京都府木津川市

【テーマ】戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（実証実験）

公園緑地における効率的・省力的な樹木診断の検討

当市が管理する公園緑地では、供用開始から40年を超えている箇所もあり、植栽樹木の老木化・大径木化が問題となっている。今後、倒木等の危険性を早急に把握するため、デジタル技術を活用した効率的・省力的な樹木診断の実施、更には診断結果に基づく台帳整備に取り組みたい。

①解決したい課題

【ニーズ】

- ・老木化・大径木化している樹木が多く、倒木などの危険性を早急に把握する必要があるため、効率的・省力的な樹木診断が求められている。
- ・樹木診断に対する知識不足及び人手不足、また樹木医などの資格保有者がいる事業者が少ないことから、デジタル技術を活用した診断を実施したい。
- ・公園台帳の植栽図面は、開設当初の状況のもので現状を反映できておらず、図面の更新やデジタル化を図りたい。また、樹木台帳を新たに整備したい。

【当市の概要】人口：約7.9万人、面積：85.13km²、立地：京都府南部【対象となる公共施設等の規模等】公園：108箇所、緑地：45箇所、緑道：2箇所（約80万m²）

【現在の取組状況】

- ・令和6年度より毎年100本程度の支障木を伐採する方向で取り組みを進めているが、枯損木など支障となる樹木の把握については、職員による巡回・点検のほか、市民からの通報によるところが多い。樹木診断については、市総合計画に位置付けているが現在のところ目立った取り組みはできていない。公園台帳の更新もできていない。

②課題解決の方向性等

【課題解決にあたっての制約や条件】

- ・開設当初の植栽図面はあるが、樹木台帳はなく、自生（自然生え）などを含めると図面と現場の差異は大きい。
- ・樹木診断・更新にかかる予算については確保できていない。

【民間事業者へのシーズ提案に期待する事項】

- ・デジタル技術等を用いた効率的・省力的な樹木診断方法（樹種、幹周、樹齢、更にはCO2吸収能力、枯れ枝の有無、樹勢などの把握）。
- ・樹木診断結果に基づく植栽図面の更新、また樹木台帳の整備方法

③課題解決のイメージ・効果

- ・デジタル技術を活用することによる効率的で精度の高い診断結果の取得
- ・樹木診断にかかる費用と時間の削減
- ・植栽図面の更新及び樹木台帳の効率的・省力的な整備

その他

SDGsやゼロカーボン等の推進により時代が緑を求めている一方で、緑にかける予算が不足しているのが現状。そのような状況下において、本課題解決は、自治体が戦略的な公園緑地の植栽管理をしていく上で、有益になると考える。